

平成29年度決算の概要

①貸借対照表

資産の部は、固定資産で前年度比236百万円増加、流動資産で前年度比139百万円減少した。主な増減要因は、固定資産では附属幼稚園園舎建替えにより、建物・構築物が前年度比235百万円増加、流動資産では現金預金が前年度比199百万円減少、未収入金が61百万円増加したことによる。

負債の部は、固定負債で前年度比0.2百万円減少、流動負債で前年度比164百万円増加した。主な増減要因は、流動負債で短期借入金が前年度比150百万円、前受金が14百万円増加したことによる。

純資産の部は、基本金109百万円組入れしたことから基本金合計が4,217百万円となった。以上の結果、純資産の部合計は2,457百万円となり前年度比66百万円減少した。

②資金収支計算書

収入は、学生生徒等納付金収入が前年度比3百万円、寄付金収入が3百万円、附属幼稚園園舎建替えによる補助金収入が67百万円、借入金が150百万円増加した。また、資金収入調整勘定で前年度比△56百万円、前年度繰越資金で△30百万円あり、収入全体では前年度比145百万円増加した。

支出は、人件費が前年度比7百万円減少したが、附属幼稚園園舎建替えにより教育研究経費が前年度比27百万円、施設関係支出が324百万円増加し、翌年度繰越支払資金は前年度比200百万円減少して755百万円となった。

③事業活動収支計算書

教育活動収支は、教育活動収入はほぼ前年度並みであったが、教育活動支出は教育研究経費が附属幼稚園園舎建替えにより修繕費が大幅に増加したことから21百万円増加、管理経費が3百万円増加して、教育活動収支差額は前年度比26百万円増加の104百万円支出超過となった。減価償却費は66百万円であった。

特別収支は、特別収入として、附属幼稚園園舎建替えの補助金があり、前年度比62百万円増加、特別支出として附属幼稚園園舎建替えに伴う施設処分差額があり、前年度比27百万円増加、特別収支差額は前年度比34百万円増加の37百万円であった。

以上から、基本金組入前当年度収支差額は前年度比8百万円増加し、66百万円の支出超過であった。基本金組入額が109百万円あり、当年度収支差額は175百万円の支出超過であった。